

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2020年7月号455号

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>



ツバメの居場所

主任司祭 内藤 聡

5月24日は久しぶりに富士吉田教会でのミサが再開されて、信徒の皆さんとミサが出来たことは嬉しく思いました。今後もコロナウイルスの状況によってミサの中止や再開が繰り返されることもあるかと思いますが、ご理解していただければと思います。

そのような中で、聖堂の入口の隅にツバメの巣が出来ているのに気づいた方もいるかと思いますが、ちょうど、ミサが再開された5月24日に巣を作っていたので、一旦は取り外したのですが、それでも諦めずに巣を作ったので場所を提供してあげることとなりました。

私も時間がある時はツバメの様子を見ますが、教会の聖堂ということで何となく落ち着いて子育てしているようにも感じています。

ツバメのことは詳しくはないですが、ツバメは北半球の広い範囲で繁殖しているようです。特に日本で繁殖するツバメは台湾、フィリピン、マレー半島、ジャワ島等で越冬し、春先に日本に飛来するようです。

北半球の広い範囲と言うことですので、きっとイスラエルなどでも繁殖してたのだと思いますが、聖書ではツバメのことがいくつか書かれています。

つばめは、旧約の時代もイエス様の時代も今の私たちが見るのと同じように、人々の近くに住み、飛び回っていた事でしょう。又、詩篇84編では以下の様に歌われています。

「万軍の主よ、あなたのいますところはどれほど愛されていることでしょうか。主の庭を慕って、わたしの魂は絶え入りそうです。命の神に向かって、わたしの身も心も叫びます。あなたの祭壇に、鳥は住みかを作り つばめは巣をかけて、雛を置いています。万軍の主、わたしの王、わたしの神よ。いかに幸いなことでしょうか。あなたの家に住むことができるならまして、あなたを賛美することができるなら。」 詩篇84編2節～5節

詩篇の筆者は、神様の神殿に巣をかけ、雛を育てているつばめを目にし、何を思ったのでしょうか。筆者は神様の家に住むことができる事を、神様を賛美することができる事をいかに幸いなことかと歌っています。

ツバメは越冬のため、巣を後にしますが、繁殖のため戻ってきます。私たちが日々の生活、社会に派遣されるために教会を後にします。でも、色々な物を背負って再び日曜日に教会へと戻ってきます。中には日々の生活の疲れた体を休めるための方もおられるでしょう。悩みの中にある方もおられることでしょうか。又、神様から受けた祝福を、喜びと共に皆と分かち合うための方もおられることでしょうか。私たちが教会に戻る時、イエス様が私たちを迎え、慰め、力づけ、大いなる恵みで満たして下さいのではないのでしょうか。

神様はパウロに「私の恵みはあなたに十分である。」と語られました。神様は私達それぞれの必要を理解され、一人一人に相応しい恵みをお与えくださる方です。弱い私達はそれに気づかな

い時もあるかもしれませんが。しかし、「イエス様は常に私たちが必要な物を与えてくださっているんだ」と言う強い心を持って、イエス様を見つめながら、私たちに定められている競争を忍耐強く走り抜いていくことができるように共に歩んでいきたいものです。

聖堂の入り口のツバメは、6月21日（日）無事に孵化したひなが確認されました。

「聖書を読もう！！」はじまりました

皆様からアンケート調査をして、4月から予定していた「聖書を読もう！！」は、新型コロナウイルス感染拡大のため始められずにおりましたが、6月から3密対策を取りながら始めました。9日（火）は7名の皆様と、「フィリポの信徒への手紙」1章～4章まで読み終えました。そこで問題が発生しました。各自で持参した聖書によって訳し方がだいぶ違う事に気がつきました。「目で文字を追う事に忙しすぎて、聖書を味わう事ができない。」という意見がでました。そこで、日曜日に使用している聖書と典礼のパンフレットを使用して読んで行く事になりました。中休みをはさみ、時には昔話に花が咲き楽しい会となりました。

13日（土）は8名の皆様と聖書と典礼の後ろにある、今週の聖書朗読の箇所を読みました。土曜日は、ほぼ同じ聖書だったので、各自の聖書を使いましたが、朗読箇所が、あっちこっちとぶので、探すのにとっても大変でした。誰が一番に見つけられるか競争でした。見つけたひとが「〇〇〇ページだよ」と発表してくれます。発表したくて必死で見つけましたが、神父様にいつも負けました。そんなことをしていたら1時間半の時間があっという間にすぎました。

日頃の日常生活の中では、なかなか聖書を開くことは難しいと思います。こんな機会に少しでも聖書に親しむ事が出来たことが嬉しく、又有難い事だと思いました。是非どなたでも歓迎します。お出掛け下さい。

★「聖書を読もう！！」7月の予定です

・火曜日 14日・28日 10時～11時30分

・土曜日 11日・25日 13時30分～15時

持ち物 聖書 眼鏡（必要な方）飲み物

（典礼 東海林）



教会委員会記録

6月7日 15名参加

1. 6月～7月の典礼について・・・別紙「こよみ」参照
2. 山梨地区宣教司牧委員会について
 - ・6月27日（土）開催予定の山梨地区懇談会（司教様参加）は中止する。
 - ・7月26日（日）開催予定の地区共同宣教司牧委員会は、検討中。
 - ・11月15日（土）開催予定の山梨地区研修会は中止する。
3. 新型コロナウイルス感染症対策中におけるミサについて
 - ・入堂時には、マスク着用、アルコール消毒を行う。
 - ・ミサ席は、間隔を取り着席、聖堂が満席の時は、司祭車駐車場と信徒館を使う。
 - ・聖堂内は窓を開けて換気を行う。 ・聖歌は歌わない。
 - ・献金袋は回さず、入り口に献金箱を設置する。
 - ・聖体拝領の時は、人との距離をとって並ぶ。
 - ・ミサ後は速やかに退堂し、信徒間の会話は外で行う。
4. 現在気にかかる聖堂等教会修繕について
 - ・聖堂ガラス現状報告
 - ・豪雨対策 エアコン高架台かさ上げ工事 ・園庭水はけ対策 浸透枘見積もり
 - ・アリ駆除 ・聖堂入口手すりサビ落とし
5. その他
 - ・ポータブルマイクを今までヨハネ学園からお借りしていた。しかし聖堂の3密を避ける対策の必要性から、外、及び集会室でミサに参加する人のため、毎週必要となる。購入することとする。
 - ・新型コロナウイルス感染拡大のため生活苦の人がいたら教会として援助してあげたい。
 - ・6月14日～7月12日までフードバンク集める。
 - ・東北支援のわかめを販売する。

お知らせ

- ★9月27日（日）に予定されていた富士聖ヨハネ学園の学園祭は、中止となりました。
- ★11月3日（火）に予定されていた横浜教区の一粒子大会は、1年延期になりました。

教会記録

★**帰天** ご冥福をお祈りいたします。

◎シスター マダレーナ 江良 チズエ（山中雪の聖母修道院）6月2日（火）

オルガン奉仕をしてくださいました。信徒の皆さんといつもニコニコと、会話を交わされているお姿が目につかびます。長い年月、ありがとうございました。

◎パウロ 高橋健一さん（ヨハネ学園利用者）6月23日（火）

こよみ



7月

- 3日(金) 初金曜日 ロザリオ10:00ミサ10:30 聖トマ使徒(祝日)
- 5日(日) 年間第14主日 ミサ9:30 教会委員会
- 8日(水) 手芸会9:30
- 11日(土) 聖書を読もう13:30
- 12日(日) 年間第15主日 子供と共に捧げるミサ9:30 墓地掃除
(聖堂掃除は日曜学校・河口湖・吉田地区)
- 14日(火) 聖書を読もう10:00
- 19日(日) 年間第16主日 ミサ9:30
山梨地区宣教司牧委員会準備打ち合わせ14:00甲府教会
(聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区)
- 22日(水) 聖マリア(マグダラ)(祝日)
- 25日(土) 聖ヤコブ使徒(祝日) 聖書を読もう13:30
- 26日(日) 年間第17主日 ミサ9:30
第1回山梨地区宣教司牧委員会14:00甲府教会予定
(聖堂掃除は吉田地区)
- 28日(火) 聖書を読もう10:00

 イタリア語教室 月曜10時 6・13・20・27日(変更の可能性あり)
 日曜学校 ミサ後 12・19・26日

8月

- 2日(日) 年間第18主日 ミサ9:30 教会委員会
- 6日(木) 主の変容
- 7日(金) 初金曜日 ロザリオ10:00ミサ10:30

新型コロナウイルス感染拡大の状況で、変更の可能性が
 あります。変更の際は、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします。

7月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
5	東海林義夫	山本一孝		福永好雄	相沢千代子	
12	曾根美香	栗原今朝夫		大野隆	江守香代子	
19	江守香代子	東海林義夫		志村好直	小松二三子	
26	東海林美佐子	山本一孝		渡辺幹雄	猪俣瞳子	